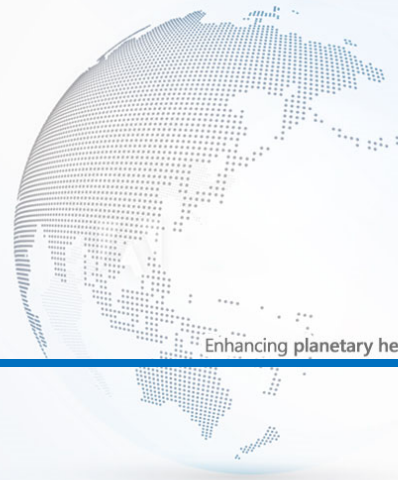


2026年3月期 第2四半期（中間期）
H1 FY2025

決算概要



Enhancing planetary health

2025年11月11日

日揮ホールディングス株式会社

本資料の複製・転載・改変・再配布を禁止します。

執行役員ファイナンスユニット部長の田口です。
2026年3月期第2四半期の決算概要のご説明をいたします。

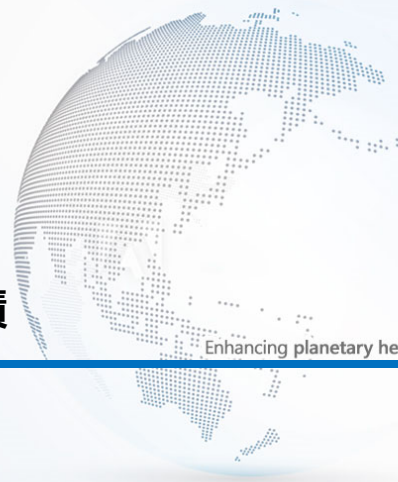
目次

- 2026年3月期 第2四半期（中間期）実績
- 2026年3月期 予想
- 参考資料



最初に2026年3月期第2四半期の実績、次に2026年3月期の通期業績予想についてご説明いたします。

2026年3月期 第2四半期（中間期）実績



Enhancing planetary health

最初に2026年3月期第2四半期の実績です。

ハイライト

- 総合エンジニアリング事業は、国内外大型プロジェクトの着実な遂行により順調に進捗
- 機能材製造事業は全般に底堅く推移
- 総合エンジニアリング事業の採算改善等により通期業績予想を上方修正

上期のハイライトとして、3点をまとめております。

総合エンジニアリング事業では、国内外大型プロジェクトが順調に進んでいます。

海外では一部苦戦しているものもありますが、EPC遂行体制を強化してきたことで、全体としてはリスクが低下し採算は改善しつつあります。

機能材製造事業は全般に底堅く推移しています。

これらを背景に通期業績予想を上方修正しております。

連結損益計算書

【億円】

	H1 FY2024 実績	H1 FY2025 実績	前年同期比		FY2025 業績予想 (修正後)	進捗率
売上高	4,067	3,812	△ 254	△ 6%	7,700	50%
売上総利益	273	302	+29	+11%	590	51%
利益率	6.7%	7.9%	+1.2pt		7.7%	
営業利益	124	157	+33	+27%	280	56%
経常利益	193	211	+17	+9%	380	56%
親会社株主に帰属する 中間純利益	127	116	△ 11	△ 9%	280	41%
1株当たり 中間純利益	52.87円	48.24円				

連結損益計算書です。

2025年度上期の売上高は3,812億円と前年同期比で減収となりましたが、売上総利益は29億円増益の302億円、利益率も1.2ポイント上がって7.9%でした。

営業利益は33億円増益の157億円

経常利益は17億円増益の211億円

親会社株主に帰属する中間純利益は、税金費用の増加により11億円減益の116億円でした。

セグメント情報

【億円】

	H1 FY2024 実績	H1 FY2025 実績	前年同期比		FY2025業績予想 (修正後)	進捗率
総合エンジニアリング	売上高	3,782	△ 278	△ 7%	7,080	49%
	セグメント利益	118	+30	+26%	270	55%
	利益率	3.1%	+1.1pt		3.8%	
機能材製造	売上高	265	+20	+8%	540	53%
	セグメント利益	37	+0	+2%	70	54%
	利益率	14.3%	△ 0.8pt		13.0%	
その他	売上高	19	+3	+17%	80	28%
	セグメント利益	5	+0	+1%	20	25%
	利益率	27.5%	△ 3.6pt		25.0%	
調整額	セグメント利益	△ 37	+2	-	△ 80	-

セグメント情報です。

総合エンジニアリング事業は、売上高が前年同期比278億円減収の3,504億円でした。国内外ともに大型案件が完工に向かって終息する中、新規案件の受注が後ろ倒しになっていることで減収となりました。

セグメント利益はプロジェクト遂行体制の強化もあって順調に進捗しており、30億円増益の148億円、利益率は1.1ポイント上昇して4.2%です。

機能材製造事業は前年同期比で増収増益となっています。触媒関係では石油精製触媒関連、ファインセラミックスでは半導体製造装置関連で販売が増加しました。

新設設備の償却費負担などにより利益率は若干低下していますが期初計画線で推移しています。

セグメント情報

受注の状況（総合エンジニアリング事業）

i) 受注高

【億円】

	H1 FY2024	H1 FY2025
海外	3,306	469
国内	409	551
合計	3,716	1,020

H1 FY2025
主要受注案件

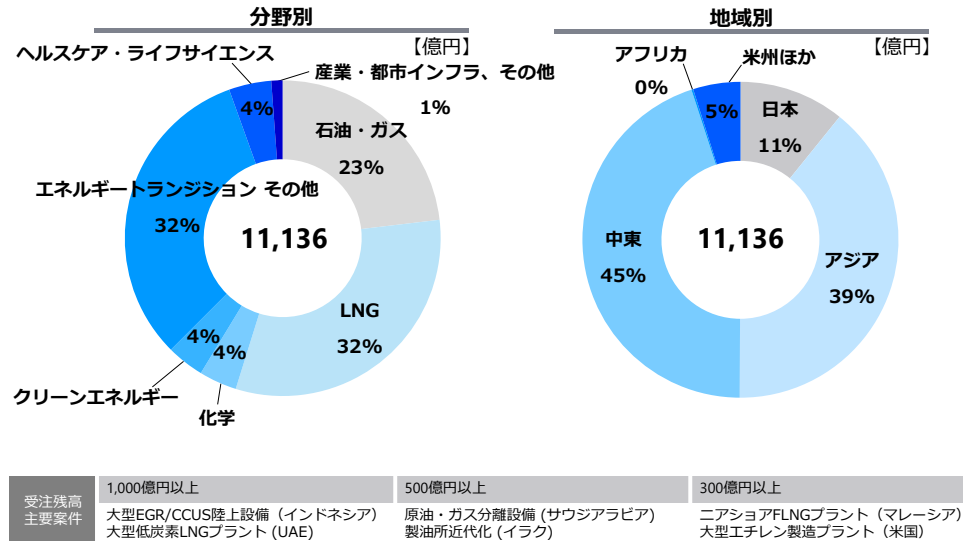
LNG FEED（カナダ）
FLNG 先行役務（モザンビーク）
ロケット試験・燃料設備（日本）
医薬品製造工場改修（日本）

総合エンジニアリング事業の受注の状況です。

上半期の受注高は全体で1,020億円にとどまっています。
主な受注案件は将来のEPCにつながるFEEDや先行役務などが主なもので、金額的に大きいEPC契約は下期の決定を期待しております。

セグメント情報

ii) 受注残高 (2025年9月末)



9月末の受注残高は1兆1,136億円です。

大型案件が順調に進捗し売り上がっており、前期末から2,910億円減少しました。

分野別、地域別の構成比は前期末から大きく変わっていません。受注残高の主要な案件の顔ぶれも同じです。

連結財政状態及びキャッシュ・フロー

【億円】

	2025年3月末	2025年9月末	増減
総資産	7,841	7,917	+75
純資産	3,922	4,125	+202
自己資本比率	49.8%	51.9%	+2.1pt
JVキャッシュ 当社持分	935	979	+43
	H1 FY2024	H1 FY2025	前年同期比
営業 キャッシュ・フロー	583	△ 75	△ 658
投資 キャッシュ・フロー	△ 82	△ 79	+2
財務 キャッシュ・フロー	△ 147	△ 103	+43
現金及び現金同等物の中間期末残高	3,561	3,041	△ 519

連結財政状態及びキャッシュフローです。

総資産は、キャッシュ等が減少した一方、保有株式の評価差額により投資有価証券が増加し、前期末から75億円増の7,917億円
純資産も保有株式の評価差額等により前期末から202億円増の4,125億円、自己資本比率は51.9%となりました。
営業キャッシュ・フローは、工事終盤の大型プロジェクトでの支払いが進んだことなどにより75億円のマイナス
投資キャッシュ・フローは、有形固定資産の取得などにより79億円のマイナス
財務キャッシュ・フローは、配当金支払などにより103億円のマイナス
9月末のキャッシュ残高は前年同期比で519億円減少の3,041億円となりました。

2026年3月期 予想



次に、2026年3月期の通期業績予想についてご説明いたします。

2026年3月期の業績見通し

【億円】

	FY2024 実績	FY2025 予想 修正前	FY2025 予想 修正後	FY2025 予想増減	
受注高(※)	9,225	6,500	6,500	-	-
売上高	8,580	6,900	7,700	+800	+12%
売上総利益	189	520	590	+70	+13%
利益率	2.2%	7.5%	7.7%	+0.2pt	
営業利益・損失(△)	△ 114	210	280	+70	+33%
経常利益	113	220	380	+160	+73%
親会社株主に帰属する当期純利益・純損失(△)	△ 3	150	280	+130	+87%
1株当たり配当金	40.00円	40.00円	40.00円	-	
換算レート(米ドル)	149.52円	140.00円	145.00円	+5円	

(※) 総合エンジニアリング事業

総合エンジニアリング事業における順調なプロジェクト進捗と
想定為替レートを1米ドル140円から145円に変更したことなどにより、
上方修正いたしました。

売上高は前回予想から800億円増の7,700億円

売上総利益は70億円増の590億円

営業利益も70億円増の280億円

経常利益は営業外の為替差と受取利息・配当金等の増加もあり160億円増の380
億円

親会社株主に帰属する当期純利益は130億円増の280億円です。

配当金は1株当たり40円に変更ありません。

以上です。

将来の見通しに関するご注意事項

本資料にて開示されているデータや将来予測は、本資料の発表日現在の判断や入手可能な情報に基づくもので、種々の要因により変化することがあり、これらの目標や予想の達成、および将来の業績を保証するものではありません。またこれらの情報が、今後予告なしに変更されることがあります。

従いまして、本情報および資料のご利用は、他の方法により入手された情報とも照合・確認し、ご利用者の判断によって行ってくださいますようお願いいたします。

本資料ご利用の結果、生じたいかなる損害についても、当社は一切責任を負いません。

＜本資料に関するお問い合わせ先＞
日揮ホールディングス株式会社
戦略企画オフィス 経営企画ユニット
コーポレートコミュニケーショングループ
Tel : 045-682-8026 Fax : 045-682-1112
E-mail: ir@jgc.com